

2021年 12月 28日

委員会設置提案書

提案者（理事名） 原 和彦

委員会の名称	UV-C 領域殺菌用途の紫外放射研究調査委員会
英文表記	Research Committee on Ultraviolet Radiation in UV-C region for Disinfection
事業部門	照明に関する研究・調査・助成事業
関連常置委員会名	分科会運営委員会
設置の趣旨	新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、紫外放射による殺菌技術への関心が高くなっている。UV-C 領域の中で水銀輝線の 254 nm の利用が一般的であるが、近年は人体への有害性が低いとされる 222 nm エキシマ光の利用が始まっており、その技術動向を調査する。また、UV-C は測定の信頼性に課題があり、その現状を把握することが重要となっている。本委員会では UV-C による殺菌技術と UV-C 計測器の現状調査を行う。
予測される成果	1) ACGIH 改訂など光医学的・光生物学的な文献調査 2) JIS Z 8113 照明用語における遠紫外放射などの定義の検討 3) UV-C 計測器の現状調査
成果のフォローアップ (会員への還元)	・紫外放射に関する用語検討結果を照明用語委員会へ提示 ・研究調査結果報告書の作成
委員会の構成 (氏名 : 所属)	委員長：竹下秀（東海大学） 幹事：安田丈夫（東芝ライテック株式会社） 奥村善彦（ウシオ電機株式会社） 委員：大久保和明（山形大学）ほか 5名程度
設置期間	2022年 4月 ~ 2024年 3月
委員会開回数／年	6回程度
活動計画	2022年度：現状の把握（国際規格、各国の規格、国内企業の動向など）、紫外放射用語の定義 2023年度：現状把握継続及び調査結果のまとめ
経費 委員等の旅費の支給対象の有無	■有（理由：照明学会（神田）での会合参加時の旅費） 支給対象者名 大久保 和明（山形大学） 支給予算額 70,000 円（光源・照明システム分科会予算より） □無
備考	

理事会の承認	承認 年 月 日
--------	----------